

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

「総合検査案内」 変更内容一覧のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、弊社2009年版「総合検査案内」の掲載事項のうち、2009年4月以降に変更した検査方法・基準値などの内容を取り纏めましたので、ご案内させていただきます。

ご利用いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

対象印刷物

- 総合検査案内(2009年版)

変更内容

- 別掲をご参照下さい。

以 上

総合検査案内 2009 改訂一覧

新規受託開始項目

入力コード 統一コード	検査項目	採取量(ml) ↓ 提出量(ml)	容 器	保存 方法	検査方法	基準値(単位)	実施料 判断料	所要 日数	備 考	検 体の 安定性	該 当 ペ ージ
----------------	------	-------------------------	--------	----------	------	---------	------------	----------	--------	----------------	-------------------

内分泌学検査

8007 5C215	プロカルシトニン (PCT)	血液 ↓ 血清	1 0.3	01	凍	ECLIA	0.05 以下	ng/ml	320 生I	2 ↓ 4	EDTA血漿、ヘパリン血漿も検査可。 脚注参照*1	P 36
---------------	-------------------	---------------	----------	----	---	-------	---------	-------	-----------	-------------	------------------------------	---------

*1: 敗血症(細菌性)の鑑別診断のカットオフ値: 0.50ng/ml 未満
敗血症(細菌性)の重症度判定のカットオフ値: 2.00ng/ml 以上

①: プロカルシトニン(PCT)は、敗血症(細菌性)を疑う患者を対象として測定した場合に算定できます。ただし、「エンドトキシン定量」を併せて実施した場合は、主たる項目のみ算定できます。

腫瘍関連検査

2880 3B222	TRACP-5b	血液 ↓ 血清	1 0.3	01	凍	EIA	男 性: 170~590 閉経前女性: 120~420 (30~44歳) 閉経後女性: 250~760	mU/dl	160 生II	3 ↓ 5		P 49
---------------	----------	---------------	----------	----	---	-----	---	-------	------------	-------------	--	---------

②: 代謝性骨疾患及び骨転移(代謝性骨疾患や骨折の併発がない肺癌、乳癌、前立腺癌に限る)の診断補助並びに治療経過観察時の補助的指標として実施した場合に6月以内に1回に限り算定できます。また治療方針を変更した際には変更後6月以内に1回に限り算定できます。

③: 「NTx」、「オステオカルシン」、「Dpyr」を併せて実施した場合は、いずれか一つのみ算定できます。

④: 悪性腫瘍の骨転移診断のために実施された場合には、悪性腫瘍特異物質治療管理料として算定します。

遺伝子関連検査

7186	JAK2遺伝子 V617F変異解析	EDTA加血液 骨髄液	2 1	14 22	冷	リアルタイムPCR法	(-)			3 ↓ 10		P 106
2567 8C933	UGT1A1遺伝子 多型解析	EDTA加血液	2	14	冷	インベダー法		2000 血液		3 ↓ 10	脚注参照*2	P 107

*2: 検査に当たり、被験者への十分なご説明をいただき、被験者ご自身の承諾が文書で得られていた場合にのみ検査の受託をさせていただきます。依頼書の被験者名はプライバシー保護のため、匿名化をお願い致します。また、検査前後の被験者への十分なカウンセリングもお願い致します。

⑤: 塩酸イリノテカンの投与対象となる患者に対して、その投与量等を判断することを目的として、インベダー法により測定を行った場合、当該抗癌性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定できます。

染色体検査

5281 8B323	ALK (2p23転座解析)											
7928 8B314	TCF3/PBX1 [t(1;19)転座解析]	ヘパリン加血液 骨髄液	3 0.5	10 22	冷	FISH法		2000+400 血液		3 ↓ 7		P 114
7930 8B417	ATM (11q22.3欠失解析)	その他*3										
7994	p53 (17p13.1欠失解析)											

[ご注意] ご提出検体は、冷室温(4~20℃)で保存してください。

⑥: 分染法を実施した場合は、400点の加算ができます。

*3: その他の材料(リンパ節、胸水、腹水、組織、カルノア固定液等の材料)で、ご提出の場合は、予め営業担当者にご相談下さい。

その他検査

5719 4Z401	アディポネクチン	血液 ↓ 血清	2 0.4	01	凍	LA (ラテックス凝集比濁法)	4.0 以上	μg/ml		2 ↓ 8	EDTA血漿も検査可。	P 158
---------------	----------	---------------	----------	----	---	--------------------	--------	-------	--	-------------	-------------	----------

検査内容変更項目

赤字が2009年4月以降に変更した内容です。

入力コード 統一コード	検査項目	採取量(ml) ↓ 提出量(ml)	容 器	保存 方法	検査方法	有効治療濃度	実施料 判断料	所要 日数	備 考	検 体の 安定性	該 当 ペ ージ
----------------	------	-------------------------	--------	----------	------	--------	------------	----------	--------	----------------	-------------------

薬毒物検査

3722 3L855	アプリンジン	血液 ↓ 血清	1 0.3	03 ↓ 02	冷	LC-MS/MS	0.25~1.25	μg/ml	[470]	3 ↓ 5	アスベノン	4 週	P 25
---------------	--------	---------------	----------	---------------	---	----------	-----------	-------	-------	-------------	-------	--------	---------

検査内容変更項目

入力コード 統一コード	検査項目	採取量(ml) ↓ 提出量(ml)	容器	保存方法	検査方法	最低希釈倍率 または 基準値(単位)	実施料 判断料	所要日数	備考	検体の安定性	該当ページ
----------------	------	-------------------------	----	------	------	--------------------------	------------	------	----	--------	-------

ウイルス学検査

2907 5F610	ロタ	血液 ↓ 血清 ↓ 髄液	1 0.3 0.4	01 02	凍	CF	血清 4倍 髄液 原液	—	5 7	※17	4週 P 53	
8810 5F399	インフルエンザ *1	血液 ↓ 血清 ↓ 髄液	2 0.4 0.7	01 02	冷	HI	血清 10倍 髄液 原液	80+80 免疫	3 5	インフルエンザA型およびB型の流行ワクチン株につき、一括検査実施致します。	4週 P 53	
2899 5F251	ポリオ	1型	血液	各1	01 02	凍	NT	血清 4倍 髄液 原液	各80 免疫	9 15	※17	P 54
2905 5F252		2型	血液 ↓ 血清 ↓ 髄液	各0.3 各0.4								
2906 5F253		3型										
8946 5F015	HBV-DNA定量 《TaqManPCR法》	血液 ↓ 血清	5 2.2	62	凍 -20℃ 以下	ロシユリアルタイムPCR法	定量結果： Logコピー/ml 2.1未満 (定量下限) 増幅反応シグナル：検出せず	290 微生物	3 4	必ず指定容器使用 血漿(容器番号80)でも検査可。	P 59	
1567 5F450	HTLV-I抗体 (ATLA抗体) 《スクリーニング》	血液 ↓ 血清	1 0.3	01	凍	PA	16倍 未満	85 免疫	2 4	陽性の場合は[確認試験]の実施をお勧め致します。 ※21	P 61	

*1：2009年11月現在の測定株は次の通りです。
A型：A/プリズベン/59/2007(H1N1)、A/ウルグアイ/716/2007(H3N2)
B型：B/プリズベン/60/2008

免疫血清学検査

7838 5E128	ツツガ虫 Gilliam	IgG	血液 各1 ↓ 血清 各0.3	01	凍	FAT	IgG 10倍 IgM 10倍 (最低希釈倍率)	220 免疫	5 8	※17	P 73
7839 5E129		IgM									
3665 5E125	ツツガ虫 Kato	IgG									
3666 5E126		IgM									
7840 5E122	ツツガ虫 Karp	IgG									
7841 5E123		IgM									

一般臨床検査

0612 1A105	沈渣	尿	10	25	冷	フローサイトメトリ/ 遠沈鏡検法	—	1 2	透		P 136
---------------	----	---	----	----	---	---------------------	---	--------	---	--	-------

海外委託検査

7963 8784	α-ガラクトシダーゼ	血液 ↓ 血清	6 2	01	凍	蛍光法	0.074~0.457 ^{U/l}	—	20 30	キャリアは通常正常値内にあるため、本検査はキャリア判定に有用ではありません。	P 162
--------------	------------	---------------	--------	----	---	-----	----------------------------	---	----------	--	-------

検査中止項目

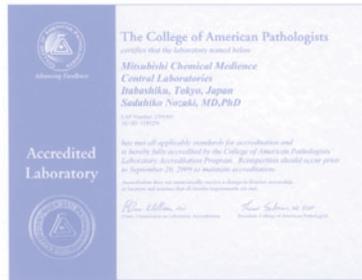
区分	入力コード	検査項目	掲載ページ
微生物学検査		ジフテリア菌	P127
海外委託検査	7949	クロラムフェニコール	P163
海外委託検査	7947	テトラサイクリン	P164
海外委託検査	7967	ポルフィリン分画 <洗浄赤血球><尿>	P166

本 INFORMATION は、総合検査案内の裏表紙の内側にお貼りいただけます。

内外取得認定類



ISO15189認定
中央総合ラボラトリー



CAP (米国臨床病理医協会) 認定 臨床検査機関



ISO14001認証
中央総合ラボラトリー



ISO 27001 認証



プライバシーマーク使用許諾証



ISO/IEC 17025 国際規格認定
薬毒物・ドーピング検査機関



WADA (世界アンチドーピング機構) 認定
ドーピング検査機関



医療関連サービスマーク
〔(財)医療関連サービス振興会 認定〕